

隣保館だより

編集 下榎隣保館
〒689-4526 日野町下榎 157 番地 1
電話：72-1191 (FAX 兼)
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp

【榎の実学習会】「お楽しみ会」

12月20日、中学生3人で「お楽しみ会」を行いました。今回は、5月に苗を植え10月に収穫したサツマイモで、大学芋・韓国料理マッタン・スイートポテト作りに挑戦しました。

はじめに、3年生が「私は最後の交流会なので、みんなで楽しくやりましょう！」とあいさつ。昨年、大学芋を作った経験から、1年生2人は手際よくサツマイモを素揚げし、たれに絡めて黒ごまをふり完成！マッタンは、大学芋のたれにコチュジャンを混ぜ、素揚げしたサツマイモと絡めて、黒ごまをふり大人の味に仕上げました。

スイートポテト担当の3年生は、ゆでたサツマイモを潰し、牛乳やグラニュー糖などを混ぜ、トースターで焼き、とても上手く出来上がりました。

完成後、「みんなががんばってとてもおいしそう

にできました。乾杯！」との1年生の掛け声で、ジュースを片手に乾杯し、料理を味わいました。終わりのあいさつで1年生が「マッタンはコチュジャンが少し辛かったけど、大学芋とスイートポテトは甘くておいしかったです」と言うと、皆満足そうな笑顔になっていました。

最後に、矢田貝館長から「みんなよくがんばりました。終業式まであと少し。ゆっくり休み、来年からまたがんばりましょう」と3人を労い、お楽しみ会は閉会しました。

一時間という短い時間の中でしたが、3人が協力し合ったことで時間内にきちんと終わることができ、楽しい時間を過ごすことができました。



【研修会参加報告】「令和4年度西部地区隣保館集会所等職員・西部高等学校人権教育主任合同研修会」に参加して

下榎隣保館 中原 純子

12月21日、大山町中高集会所で、標記の合同研修会が開催されました。

米子工業高等学校の笹川先生と境港総合技術高等学校の田中先生の「人権教育の取り組みについて」、西伯文化会館の生田清館長の「隣保館の取り組みについて」の講演を聞いた後、グループに分かれ、各実践報告から議題を選択し討議しました。

はじめに、笹川先生が「2018年度に起こった生徒による差別発言事象の後から、各種連携強化に努めている。しかし、教職員同士の連携不足など課題もある」と発表。次に田中先生が、LHRの取り組み・職員研修などについて話し、小説『こんな夜更けにバナナかよ』を参照しながら「差別はされる側ではなく、する側について話し合うことが大切」と語りました。

また、生田館長は、西伯文化会館が地域の交流の拠点となっていること、小・中学習会や百歳体操の取り組み、相談業務は全員が共有し、現地研修に行くなど地域の人たちと交流を深め

ることで、来館者が増えたと話しました。

グループ討議では、笹川先生から問題を問われた「米子工業高等学校の差別発言事象などの問題について」を議題としました。

差別発言について、集会などで教職員が語るも、「なぜ発言した言葉がだめだったのか？」の途中経過が抜けていて「言ってはダメです」で終わっていたそうです。討議の中で、『差別発言がなぜダメなのか』ということ、教職員がはっきり答えられないといけない。何が差別なのか知らないと問題解決にならない」という意見に、皆一致しました。また、教職員であっても、人・子どもの生き方、考え方をガラッと変えることは、そう簡単なことではない。しかし、導いてあげるための教材を揃えてあげる、情報を与えてあげることが必要だとまとめました。

どう子どもたちと向き合っていくか、教職員だけではなく、隣保館や集会所側もしっかり考えていく必要性と、連携の大切さを学んだ研修会でした。

獣害対策 アップデート

日野郡の珍動物？①

日野郡鳥獣被害対策協議会
川野風花【問合せ】電話 72-1399

す。完全な夜行性で、縄張り意識もないためケンカも少なく、人が起きている時間は静かに過ごします。ただ、それによって屋根裏をめぐらにされていることに長年気づかずに、断熱材をボロボロにされていたり、たまりにたまった糞尿によって天井が腐り落ちるといった問題が発生します。

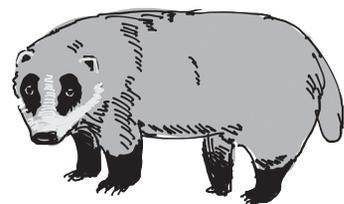
屋根裏をハクビシンの寝床にされないためには、直径6センチ以上ある侵入できそうな穴は金網などで塞いでしまうことが重要です。テンやアナグマなど他の中型動物と同じですね。今回はハクビシンによる作物被害と、その対策方法についてお話したいと思います。

冬になると屋根裏に入り込む居候動物の紹介をしてきましたが、今回、新たな仲間をご紹介します。その名もハクビシン。名前の通り白い線が鼻筋に入っているのが特徴の中型動物です。その見た目からアナグマと間違えられることもありませんが、ハクビシンには長いしっぽがあり、どちらかという猫に近い見た目をしています。

手のひらには分厚い肉球があり、これをパッドのように使うことができます。侵入口は通風孔や屋根の隙間などで、おおよそ直径6センチの穴があれば体をひねって侵入可能です。

屋根裏をハクビシンのめぐらにされると、どうなるのか？ですが、騒音被害はテンやアナグマに比べて意外と少ないよう

アナグマ



ハクビシン



～こんにちは、消費生活相談員です～
知って安心！消費生活のはなし



詐欺的な通販サイトにご注意を！

ネットの広告を見て注文したが、商品が届かない、または粗悪品が届き、返品しようにも連絡が取れないというトラブルが多く見られます。

〈トラブル例〉 ・ SNS で見つけたサイトで服を注文した。きれいな写真が多くて信用してしまったが、ほつれや素材違い、サイズ違いなどの粗悪品が届いた。返品したいがサイトと連絡が取れない。(30代女性)

〈見分けるポイント〉

- ▼一般に流通している価格より極端に安い。
- ▼事業者の所在地の記載がない、電話番号がなく連絡方法がメールのみの場合は要注意。注文前にサイト内の「特定商取引法に基づく表記」を見て、事業者の名称、住所、電話番号、購入条件、解約・返品条件を必ず確認しましょう。
- ▼支払い方法が代引きや振り込みだけ、または振込先が個人名口座になっている。
- ▼注文前に、サイト情報を調べることも参考になります。

〈被害にあった場合は〉 ・ 商品が届かない場合は、警察に相談しましょう。
・ 支払いに利用したカード会社や振込先の金融機関に連絡しましょう。
・ カード番号を入力した場合は、悪用防止のためカード番号を変更してもらいましょう。



日野郡3町では、毎週水曜日に相談員が輪番で対応しています。(くらしのカレンダー参照)

※次回の消費生活相談員来室日 1月25日(水) 午後9時～午後4時

★相談は、消費生活相談窓口(役場産業振興課内)(電話 72-0336 または局番なしの188)へ!

